

代表質問

**質問** 学校給食費無償化の実施に至った経緯を伺う。

**答弁** 子育て世帯の皆様や議員の皆様からも学校給食費無償化の要望をいただいております、実施に向けて国の動向を注視し検討してきた。国による早急な無償化の制度化は困難と捉え、市独自により地域を挙げて子どもたちを育てていく思いを込め、学校給食費の無償化を実施することとした。

**質問** 今後も継続的に無償化を進めるために財源であるふるさと納税の目標値は10億円を超える取り組みが必要と思うが見解を伺う。

**答弁** 様々な工夫をして少しでも多くの寄付をお願いしたいと考えている。

**質問** 無償化を展開していくにあたり、食材の地産地消の向上と川連漆器の食器使用による食育の推進について伺う。

**答弁** 地場産物食材を積極的に使用することや、郷土料理を取り入れたふるさと献立の実施、伝統工芸品である川連漆器を給食用食器として使用することにより、地域の伝統に根ざした食文化を継承するとともに味覚だ

けでなく、視覚的にも味わえるような給食を提供することで児童・生徒の食育の推進につながるものと考えている。

**質問** 急速に進む少子化に対する改善策を伺う。

**答弁** 少子化や人口減少に特効薬はないが、市の将来を見据え、中・長期的な取組を実施してきた。社会や生活環境の変化により個人の生き方も多様化し、結婚への価値観の変化も相まって晩婚化、未婚化が進み、少子化の進行に歯止めがかからない状況にある。結婚を望んでいる人や子どもを持ちたい人がその希望を叶えられるような環境の整備にしっかり取り組んでいくことが重要と捉えている。

**質問** 出生数がいざれ100人を切る事が予想されるが、男女ともに若い方が湯沢で働ける環境を作る取組が大事と思うが見解を伺う。

**答弁** 若い男女が湯沢市に定住、あるいは戻ってきていただける環境を作り上げなければ、出生数の減少の歯止めにつながらないため、行政としてその取組を進めていく。

**質問** 地域おこし協力隊の定住

率が低いことについて伺う。

**答弁** 全国、県と比較して少ない状況である。3年任期後の仕事をどのように確保できるかというところをサポートしていきたいと考えている。

**質問** 住宅耐震改修事業として部分改修、シェルター化を対象とすることについて伺う。

**答弁** 国の基準により住宅全体での耐震性の確保が要件となり費用負担が大きいことから、改修内容に対する要望や工事の方法、需要の把握に努め、今後の事業制度の在り方について関係機関と協議したいと考えている。

**質問** 地熱調査井MS-2号井を活用して地熱発電所の建設を検討できないか伺う。

**答弁** 温泉井のポテンシャル調査を依頼しており、調査結果の報告の内容を踏まえ、活用可能な量に応じた有効な活用策を検討していく。

**質問** 地熱を利用してグリーンハウス栽培事業を展開し、雇用の創出につなげられないか伺う。

**答弁** 熱利用として有効な手段の1つであると捉えている。地

熱資源の有効活用に積極的な民間事業者と一緒に事業化に向けた検討を進め、雇用の創出に努める。

**質問** ICTを活用した学習の効果を伺う。

**答弁** 児童・生徒はICTを活用することで、画像や動画等を使って自分の考えを表現したり自分に合った方法を選んで考えをまとめたりすることができ、個別最適な学びにつながっている。また、グループや学級全体での学び合いが円滑になり、協働的な学びが促進されている。

**質問** ICTを活用して英語を気軽に、楽しみながら学習できないか伺う。

**答弁** 英語のデジタル教科書では、英文を音声で読み上げる速度を個々の力に合わせて調整し追いかけて読みができ、気軽にリスニングとスピーキングのスキルを向上させることが可能である。令和6年度から家庭へのタブレット端末の持ち帰りを実施することとしており、スピーキングが苦手な生徒においては、家庭で周囲を気にせず、楽しみながら練習することも可能であると考えている。